

図画工作科学習指導案

2年1組 24名 指導者 福島 光 二

本授業は、以下の検証を行うものである。

友達との「かかわり合い」を大切に授業づくりをすることで、イメージを広げ、意欲をもって自主的に活動に取り組む子どもが育つのではないか。

1 題 材 ぞうけいずかん なに見える？（鑑賞）

2 目 標

形から自由に様々なイメージをもつことで発想や構想を広げ、想像する楽しさを体験し、表現への意欲をもつことができるようにする。

3 題材の評価規準

- 身の回りの様々な植物の形や色に興味をもち、楽しく見ようとしている。【造形への関心・意欲・態度】
- 不思議な形から想像を広げ、絵に表そうとしている。【発想や構想の能力】
- 物の形や色・それがもつ雰囲気よさに気付いている。【鑑賞の能力】

4 題材について

(1) 題材の価値

本題材は、多様な図版で構成されている。これらは、子どもたちにとって魅力的で楽しいものが中心で、それらの内容から、自由に様々なイメージをもつことで、そこから発想や構想を広げ、想像する楽しさを体験し、表現への意欲をもてるように計画されている。つまり、子どもたちの感性を刺激することがねらいとされている。

そこで、これらの感覚的な世界を楽しみながら、比較したり、類推したりといった造形的思考を重ね、より豊かなイメージの構造を獲得していく子どもたちを育てたいと考える。

この時期の子どもたちは、興味関心をもつ対象が広がるとともに、一段と想像力を働かせ、工夫することを楽しむようになる。

本題材の価値は、何気なく生活の中で目にするものを焦点化し意図的に見ることを通して、形や色のよさや面白さ、美しさなどに気づき、そこから得たイメージを表現や鑑賞の活動に生かすことができるようにすることである。そこで、友達とかかわり合いながら想像することの楽しさを存分に味わわせた。

(2) 子どもの実態と指導

本学級の子どもは、図工でさまざまなものをつくったりかいたりすることに喜びを感じている一方で、自由な発想でつくることに苦手意識をもつ子どもも見られる。理由は、2つある。1つ目は、「どのように表したらよいのか分からない。」というようにイメージを明確にもてないからである。2つ目は、自分から工夫の仕方を見付けることが難しいからである。そこで、本学級の子どもたちが心の中で表現したいものの形や色をはっきりと思い浮かべ、意欲をもって自主的に活動に取り組めるようにするために、各段階で発想や構想の能力を高められるように指導を工夫していきたい。

「思いをもつ」段階では、題材名ボードとの出会いから、学習する内容に気付かせ、題材に対する期待を高められるようにする。また、題材名ボードの形からイメージしたことを発表させることで、自由にイメージしてもよいという思いをもたせる。

「思いをふくらます」段階では、不思議な形からイメージするものを「かかわり合い」を通して更に想像を広げるようにする。子どもが困っている場面では、しっかり子どもの様子を観察し、なるべく自分の力で乗り越えられるようにタイミングを見て適切なアドバイスをする。

「思いを表現する」段階では、まず、面白い形の葉っぱを紹介し、身の回りの植物に関心をもたせ、面白い形の植物を見つけようとする意欲を高める。次に、見つけた植物について何に見えるかグループで話し合わせ、見つけた植物を更に詳しく見るができるようにする。それから、見つけた植物の形の面白さを絵で表現させる。その際、形の面白さからイメージを広げている子を称賛し全体へ広げていく。

「新たな思いをもつ」段階では、子どもが見つけた植物の場所を学校マップにまとめたり、教師が見付けた植物以外の物も紹介したりして、他にも見付けたいという思いを高めるようにする。

5 指導計画（総時数2時間）

過程	主 な 学 習 活 動 【評価規準】	時間
思いをもつ	1 題材名ボードからどんな学習が始まるか予想する。 題材名ボードの言葉の意味について考えさせたり、ボードの形に気付かせたりして、これからする学習への見通しをもたせる。 2 本題材のめあてをとらえる。 形からイメージをふくらませることを楽しもう。 【関：形からイメージする活動に興味をもち、進んで取り組もうとする。】	1 (本時)
思いをふくらます	3 「かかわり合い」を通して更に想像を広げる。 子どもが困っている場面では、しっかり子どもの様子を観察し、なるべく自分の力で乗り越えられるようにタイミングを見て適切なアドバイスをする。 【想：不思議な形から想像を広げ、絵に表そうとしている。】	
思いを表現する／ 自他のよさに気付く	4 身の回りの植物に関心をもち、面白い形の植物を見つけようとする。 面白い形の葉っぱを紹介し、身の回りの植物に関係をもたせる。 5 見つけた植物について何に見えるかグループで話し合い、見つけた植物を更に詳しく見てイメージを広げる。 6 見つけた植物の形の面白さを絵で表現する。 形の面白さからイメージを広げている子を称賛し全体へ広げていく。 【想：不思議な形から想像を広げ、絵に表そうとしている。】	1
新たな 思いをもつ	8 友達と作品を紹介し合う。 子どもが見つけた植物の場所を学校マップにまとめたり、教師が見つけた植物以外の物も紹介したりして、他にも見付けたいという思いを高めるようにする。 【鑑：物の形や色・それがもつ雰囲気のよさに気付いている。】	

6 本 時（1／2）

(1) 目 標

形から自由に様々なイメージをもつことで発想や構想を広げ、想像する楽しさを体験することができるようにする。

(2) 評価規準

不思議な形から想像を広げ、絵に表している。

【発想や構想の能力】

(3) 指導に当たって

「思いをもつ」過程では、教師が提示した題材名ボードの形から自由に様々なイメージをもつことを楽しめるようにする。また、子どもの反応からキーワードを提示し、めあてにつなげていく。

「思いをふくらませる」過程では、まず、一人で、教師が準備した不思議な形からイメージしたものを付箋紙に書き出し、比べやすいようにする。次に、グループで、一人で考えたイメージを紹介し合わせ、自分では気付かなかった発想や構想のよさや面白さを話し合えるようにする。それから、みんなで黒板に掲示されたグループの考えを見て話し合わせ、いろいろな発想や構想があることに気付くことができる。

「思いを表現する／自他のよさに気付く」過程では、先の話合いで出されたイメージを生かしてかいている子を称賛して回る。こうして、活動が思いつかない子も安心して取り組める雰囲気を作ったり、自分の作品への自信を高められたりできるようにする。また、新たな工夫を考え、取り組んでいる子どもを称賛し、自由な発想や構想で取り組みたいという思いを高めるようにする。

「新たな思いをもつ」過程では、友達の作品を紹介し、「すごいな。こんな工夫もあるのか。」とイメージを深められるようにする。また、面白い形に見える植物の写真を紹介し、今後の活動の見通しをもたすことで、子ども自ら意欲的に学習を進める力を高めたい。

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
思いをもつ	(分) ↑ 5 ↓	みんなで	1 教師が提示した題材名ボードの形から自由に様々なイメージをもつことを楽しむ。 〔・いろいろな方向から見ていいのか。 ・形もおもしろいなあ。 ・どんなことをするのか。〕 2 本時の学習のめあてをとらえる。 形からイメージをふくらませることを楽しもう。	教師が、題材名ボードを提示し、自由に様々なイメージをもって楽しむことができるようにする。 教師は、子どもの反応からキーワードを提示し、めあてにつなげるようにする。 教師が示したキーワードを基に司会団が中心となってめあてをたてるようにする。 題材名ボード
思いをふくらます	↑ 15 ↓	一人で グループで みんなで	3 司会団が中心となって学習を進める。 (1) 一人でイメージを広げる。 〔・何に見えるかな。 ・キノコに見えるな。 ・いろいろなものに見えて面白いな。〕 (2) グループで考える。 〔・その考え面白いな。 ・なるほどそうすると蛇に見えるな。 ・もっと他に見えないかな。〕 (3) みんなで考える。 〔・みんないろいろ気付いているな。 ・〇〇くんの考えはすごいな。 ・〇〇さんの考えた〇〇でかいてみたいな。〕	教師が準備した不思議な形からイメージしたものを付箋紙に書き出し、比べやすいようにする。 一人で考えたイメージをグループで紹介し、自分では気付けなかったイメージのよさや面白さを話し合うようにする。 グループで話し合われたものを黒板に掲示し、いろいろなイメージがあることに気付くようにする。 付箋紙 ホワイトボード
思いを表現する／自他のよさに気付く	↑ 20 ↓	一人で みんなで	4 不思議な形からイメージを広げ、かいていく。 〔・どの考え方でかこうかな。 ・〇〇が面白そうだな。 ・よし、〇〇でかいていこう。 ・優しい〇〇にしていこう。 ・強そうにするためにはどうすればいいかな。〕 5 司会団が中心となって、友達の作品を鑑賞し、作品から感じたよさや面白さなどについて話し合う。 〔・〇〇くんのはすごいな。 ・〇〇さんの考えは面白いな。 ・いろいろな作品があるな。〕	※ 不思議な形から想像を広げ、絵に表そうとする。 (ワークシート) ○ すぐにイメージを広げてかいている子には、自分の思いが伝わるようにこだわりをもってくるようにする。 ○ イメージがもてない子には、一緒に机間指導して回り、友達の作品からイメージを広げていくようにする。 ワークシート
新たな思いをもつ	↑ 5 ↓	みんなで	6 司会団が中心となって本時の学習を振り返る。 〔・イメージするのが楽しかった。 ・いろいろな作品があって面白かった。 ・向きを変えるとイメージも変わって面白かった。〕 7 教師からまとめの補説を聞く。	自分や友達の頑張りを認め合い、表現への自信を高めるようにする。 教師が、友達のかいた作品を紹介し、発想の豊かさを称賛すると共に、面白い形に見える植物の写真を紹介し、次時への意欲を高めるようにする。